

事業名	救急業務体制整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	高見 雄二
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	佐藤 和幸

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員(救急救命士)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	救急救命士の研修及び採用の実施	
【抱える課題やニーズは】	救急活動の充実	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	救急現場に救急救命士が出動し、重度傷病者に高度な救命処置を実施する。	① 救急救命士各種研修等	目標年度	平成24年度
			目標値	9回
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	研修をすることにより救急救命士が高度救命資器材を使用できるようになり、重度傷病者の救命率の向上、予後に抱える後遺症の軽減が図られる。	② 救急救命士新規採用数	実績値	9回
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	札幌医大研修	医師の指導のもと研修(救急搬送患者を医師の指示のもと処置を実施)を実施(24年度 6回 6名)		
	道北ドクターヘリ事例検討会	医師の指導のもとドクターヘリに関する事例を検討する研修(24年度 2回 4名)		
	札幌医大事例検討会	医師の指導のもと救急搬送に伴う事例を検討する研修(24年度 1回 4名)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	現有救急救命士の生涯研修及び実習は義務付けとなっている。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		現有救急救命士の生涯研修及び実習は達成できた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		現有救急救命士の生涯研修及び実習を受けたことにより、町民に対し高度な救急処置を実施できる資格を取得した。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		救急救命士の資質向上を図ることにより、重度傷病者に対し高度な救命処置が実施できる。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

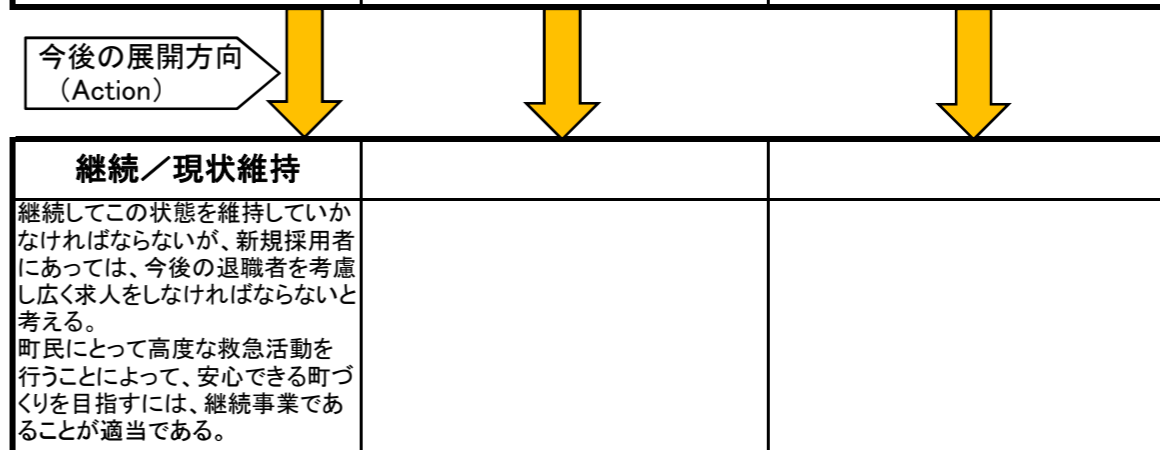
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
救急救命士の研修については、手技の向上が認められるため、今後も必要であると考え。		



※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止